

あす 未来の長生を考える

おだか陽一後援会だより

発行者
おだか陽一後援会
発行責任者：小高信一
長生村岩沼619
TEL・FAX (32) 3949

令和5年 会報
号外

長生村長選に

小高村長

立候補を表明



おだか陽一後援会
会長 小高 信一

この度、三期十一年有余の村政のリーダーとして邁進している小高陽一君は、任期満了に伴い来年実施される長生村長選挙に再度、立候補する決意を固めました。

村長として、議員活動も含めた長年の間に、培った経験・知識に基づく村政を遺憾なく発揮し、関係機関との太いパイプを活かしつつ、村のリーダーとして立派に舵取りをしています。

最近の新型コロナウイルスの感染拡大という困難な状況のなかにおいても大過なく乗り越えてきたところではあります。

後継者育成はリーダーの大きな仕事ですが、首長の後継者探しとなると簡単ではありません。であれば、小高陽一君は自らがり残り残した課題に再度挑戦し、「いつまでも夢を語る村」を旗印に引き続き人口減少対策、安全・安心で活気が溢れる千葉県唯一の村、住んで良かった村の実現に取り組んでいきます。

「おだか陽一後援会」としては、村政の旗振り役としての長年の実績、知識・経験が今後とも必要不可欠であると思っており、その手段として、後援会活動を通して全力でサポートしていくこととしましたので、皆様には一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



村長 小高 陽一

再度挑戦を決意

私、小高陽一は、村議会十二月会議での岡本高直議員の一般質問に答える中で、来たる令和六年六月三十日に執行される村長選挙に四度目の立候補をする考えを表明いたしました。

今年七月十六日、七十一歳の誕生日を迎え、村長の任期があと一年となったこの夏から熟慮をくり返しました。

県内の市町長の若返りが報じられるたびに、「この歳で大丈夫だろうか」と自問してききました。

私は、自分が後継者指名して村長の座を譲ろうと考えたことはありません。村長は有権者の票によって選ばれ、その重さを知って職務を行なうべきです。

方々に、「村長選挙に出馬しませんか」とお願いしても、「ハイ」とは言ってくれませんでした。

そんな時、住民の皆様から、「次の選挙も出馬するんでしょ」との声を多く聞くようになりました。

私は過去三期の間、住民の福祉向上、安全・安心な村づくりを考えてきました。「あれは良かったよ」とほめられる施策があったとすれば、住民のご協力と議会のご理解、ご支援の賜物です。

高齢者福祉と子育て支援の向上は、今後とも続く行政の課題でしょう。安全・安心で快適な生活をおくるためにも、限られた予算の中で道路などの生活環境基盤の整備や老朽化した公共施設の改修も必要です。

増え続ける皆さんの要望にこたえるためのバランス感覚は衰えていません。何より三期十二年間で築き上げた皆さん一人ひとりの信頼関係は私の宝物であり、「夢がある、生きがいを感じる、住んで良かった長生村」づくりには欠かせません。

どうか皆さん、私の四度目の挑戦に対し、もう一度お力をいただけますようお願い申し上げます。